



年婦人が太るのは当たり前と思うほどの量である。この習慣の主役は女性らしい。

アフタヌーン・ティーではないが、最近、ランチを食べるちょっとしたがりな店はグループの女ですます元気で長寿という結果が出たらしい。自分のことのようで、ますます老いのスピード

春の旬の味が違うよう、長くその営みの中を生きて来たお年寄りの味を大切にしたいと思うのである。

春の旬の味が違うよ  
うに、長くその営みの  
中を生きて来たお年寄  
りの味を大切にしたハ

日本では余り耳慣れない言葉「コンサバトリー」。ガラスに囲まれたガーデンルームのことである。サンルームに似ているが、ガーデニングを重視し、ガラス越しに太陽光をたっぷりと取り入れる。フランスで始まってイギリスで流行し、植物に囲まれながらお茶を楽しむ空間もあるらしい。

我が家のコンサバトリーもどきの空間は庭に面し、応接間と寝室をL字型に結ぶ八畳余りのスペース。山のウグイスの声もよく聞こえて、最もお気に入りのくつろぎの場である。

柳暗きがら早々  
一九月  
～春来たる(下)～

九月

The book cover features a black and white illustration of a monk in traditional robes walking away from the viewer. He holds a wooden staff with a bell hanging from it. The background shows a misty landscape with a building, possibly a temple, on a hill. To the right of the illustration, vertical Japanese text reads 'サビエル生誕五百周年'. On the left side, large vertical text reads '巡礼の道'. At the bottom left, a box contains the number '539'. At the bottom right, the author's name '藤屋 侃士' and location '(下松市幸ヶ丘)' are written.

藤座 侃士  
(下松市幸ヶ丘)

イヤーから流れながら本を読むと、すぐにうたた寝といなくなる。

この空間、  
冬は色とりど  
りのカラフルな  
お茶のため

A large, dense arrangement of various flowering plants, likely in a greenhouse. The arrangement includes several tall, thin stems with clusters of small, red, bell-shaped flowers at the tips. In the foreground, there are clusters of bright yellow and orange flowers, possibly from a Kalanchoe plant. The plants are growing in a variety of containers, including a prominent brown terracotta pot on the right. The background shows the glass walls of the greenhouse.

の円形テーブルまで  
占していたが、今  
テーブル上に花は置  
ず、コンサバトリ一  
しくなる。

性ばかりであるのに驚かされる。ご主人は安い社員食堂やファミリーレストランですませているのに、中年女性を中心としたこの傾向には何か腹立たしさを感じていた。

しかし最近は、自分がそうであるように、組織を離れれば濡れ落ち葉の男のふがいなさの表れだと思うようになる。

が早くなる。  
さて、ウグイスの初鳴きを聞いて早や一方月が過ぎた。

先日、団地を散歩していると、近所のご主人が一階から山に向かって「ホーホケキョ」と口笛で呼び掛けると、何とウグイスがそれに返答したのである。鳴くのはオスで、繩張り宣言をしているらしい。

アラスカクルーズに参加した時、本格的なアフタヌーン・ティーを初めて体験した。ロンドンの美術館などのレストランでも午後限定のメニューにアフタヌーン・ティーがあった。専用の三段重ねの器にサンドイッチやクッキーが

女性はコミュニティーブル坊が上手で、話題上手。よくもそんなに話題があるものだと感心させられる。それは、夜、酒が入るとつまらぬ話で盛り上がり、男の世界に似ている。ところが組織を離れた男性は友達もなく、テレ

ふと、世の高齢者の男性も、もつと女性に負けずに仲間と元気に老後のコミュニティーを作らねば、ますます男女格差は広がるとウグイスの鳴き声に教えられた気持ちになる。

スピードで便利な世の中に年寄りは取

紅茶とともにに出され  
る。これでは西洋の中

レビの守りをしてしる  
その結果かもしけな

り残され、年寄りの味  
が粗末に扱われ、何か

年婦人が太るのは当然  
り前と思うほどの量で  
ある。この習慣の主役

いが 奥様に先立たれ  
た男性は短命らしい  
が、ご主人に先立たれ

施設の中に閉じ込め、テレビづけのような気がする。